

留学
ジャーナル
別冊2020-2021

これからの時代を生き抜く力を手に入れる
学生・社会人のための

2019年12月号増刊

留学ジャーナル

別冊

2020-2021

学生・
社会人のための

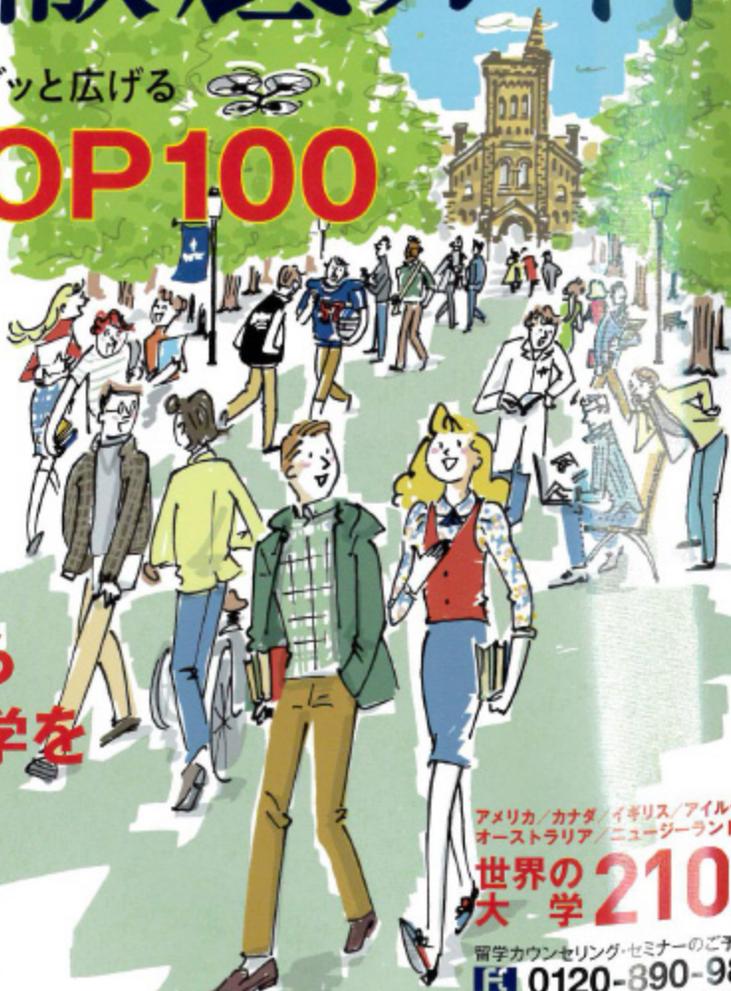
大学・大学院留学徹底ガイド 留学ジャーナル

大学・大学院 留学徹底ガイド

留学を進路に可能性をグッと広げる



世界のTOP100 大学に 行く方法



各国留学事情
ベーシック講座

日本の大学から
海外の名門大学を
目指そう!!

増える? 社会人の
大学院留学

アメリカ/カナダ/イギリス/アイルランド
オーストラリア/ニュージーランド

世界の大学 **210** 校

留学カウンセリング・セミナーのご予約は
0120-890-987

<https://www.ryugaku.co.jp>

ますます注目されるグローバル人材
増える？

社会人の 大学院留学

ビジネスのグローバル化が加速する現在、
留学でスキルアップを考える社会人が増えている。
しかし、キャリアをストップしてまで留学する意味はあるのだろうか？
そこで、留学支援の専門家や大学院留学経験者に海外で学ぶ
意義やモチベーション維持のコツについて聞いた。

Text/Kenichi Marumo

キャリアUPにつながる

大学院留学 注目の専攻

MBA (経営学)

Master of Business Administration (経営学修士号)の略。リーダーとして組織の価値を最大化するための意思決定を学ぶのが主な目的。過去の事例を研究するケース・スタディー中心に授業が進められる。マーケティングやファイナンスなど幅広い知識とともに、グローバル企業で働くリーダーに求められる資質が身につく。

国際関係学

Master in International Relations。国境を越えた交流がますます盛んになる現在の世界において、国と国とが相互理解を目指し、平和を築いていくために、どのような取り組みが必要か学べる。国連職員など、国際機関での仕事を志す人が目指すことが多い。もちろん、グローバルビジネスを進める上でのコミュニケーションも学べる。

行政学

Master of Politics。世界の政治や統治の仕組み、社会インフラの整備などについて、幅広く学ぶ。フィールドワークなどを経験しながら、公共事業のマネジメントや分析・実行する実践的なスキル修得を目指す。国際社会をよくしていくためのインフラを支える仕事を志す人が留学先に選ぶ傾向が強い。国際機関などで働く将来像を目指すことができる。

法学

Master of Laws (法学修士号)、通称LL.M.を指すことが多い。特定の国や法律や国際法について専門的に研究する。欧米では本来、LL.M.は研究者や教育者育成のプログラムだが、日本の場合、企業や弁護士事務所からの派遣でロースクール留学をし、帰国後は企業のLegal Adviser (法律顧問)として活躍するケースが多数を占める。

エンジニアリング

Master of Engineering。工学全般の修士号、博士号を指す。領域は航空工学からバイオテクノロジー、コンピュータサイエンスまで幅広い。特に、AIやバイオの先端研究は欧米が主な舞台となっている。特にアメリカでは、修士・博士課程は、研究室の実務要員の意味合いが強く、在学中に給与が支払われるケースがほとんどだという。

教育学

Master in Education。人間の学びのプロセスとそれぞれに最も適した教授法を研究する。授業計画の立て方、教え方のノウハウ、教育哲学、教育心理学、安全な学校運営に必要な知識など、学ぶ範囲は多岐にわたる。異なる文化背景を持つ子どもたちの教育など、多民族国家ならではのトピックを学べるのも大学院留学のポイント。

留学は「できること」の範囲を世界に広げてくれる

「自分を知ることが大切」という話が出ましたが、よく言われる「グローバル人材」とは、どのような人でしょうか？ 私は、世界を舞台にどこでも誰が相手でも自分らしく振る舞える人だと語ります。能力自体は「人材」に宿るもので、「グローバル」というのは範囲でしかありません。自分ができることを知り、その範囲を世界に広げていくのが「あなたという人材のグローバル化」です。例えば、ウサイン・ボルトにはどんな資質があったのでしょうか？ 「世界一の脚力」。そうかもしれません。ただ私はあえてこう言います。ボルトの能力と価値は世界一の脚力をオリンピックという世

界は必須です。グローバル化が加速する社会のルールづくりから日本が外れるわけにはいきません。そういう意味では、法学もますます注目されるでしょう。同様に世界中で起きているイノベーションの現場に日本人もいないといけない。エンジニアリングこそ、世界に出て最先端の研究現場を知ることが大きな価値になります。実際、バイオテクノロジーやAI、エネルギー開発といった分野の研究環境は、欧米諸国のほうが圧倒的に進んでいるのは否めません。そんな日本の現状を知ろうとしても世界に出る意味は大きいのです。

「自分が知っていること」の範囲を世界に広げてくれる。海外に出ると中東問題やトランプ政権の問題など世界中の出来事に関心を持つようになります。私にこれを「海外に出ると自分ごとが増える」と表現しています。これは、自分が影響を与えられる範囲が広がることを意味するものではないでしょうか。まず大切なことは、自分の人生のドラマイパーになれるかどうか。行き先を他人やあなたの価値観無視のカーナビに委ねるのではなく、選択肢を知りハンドルは自分で握る！という人生を目指してほしい。そして、理想に向けて、明日から何かひとつでもやってみてほしい。「未来」とは、明日の過ごし方を変えること。ぜひ大学院留学で未来の可能性を広げてください。

成功を掴めるのはどんな人？ 社会人の大学院留学最新事情

社会人にとってキャリアから離れて、留学という道を選ぶのは、リスクを伴う大きな決断だ。大学院留学で成功を掴める人とはどのような人なのだろうか？ 大学院留学サポートの専門家に話を聞いた。



株式会社アコス・ジャパン 代表取締役 横山 匡さん TADASHI YOKOYAMA 大学院留学専門予備校アコス・ジャパン代表。父親の仕事の関係で、16歳からアメリカ西海岸に在住。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)言語学部卒業後、1983年秋に日本に帰国。1984年1月から、留学指導・語学教育に携わり、現在に至る。

社会人の大学院留学は キャリアデザインの一部

社会人にとって、大学院留学というのは、もうキャリアの一部なんです。「知識の吸収」という受け身で行くようなところではありませんので、数百万円かけて目指すこの道が、働く1〜2年間より価値があるのか、まず考えないといけない。留学をキャ

リアデザインの1ステージとして、捉えられるかどうか。私がMBAの基礎セミナーをやるときには、海外の大学院、特にMBAコースは、日本人が考える「学ぶ」とは感覚がまったく違う、という話をします。社会人、つまりプロフェッショナルの学びというのは、インプットではなく、アウトプットの訓練なんです。自動車に例えると、インプット

というのは、積んでおくエンジンや燃料の質を上げること。それに対して、アウトプットは、エンジンを回して、燃料の燃やし方、すなわち行く先を決めて運転すること自体の練習することです。私が大学院留学はキャリアの一部というのはそういう意味です。日本人の「学び」に欠けているアウトプットへの意識と行動を徹底的に鍛える場所がMBAであり、海外の大学院なのです。もちろん、社会人の大学院留学MBAではありません。やはりMBAを目指す人は圧倒的に多いですが、続いて、国際関係学や行政学、法学、エンジニアリング、教育学などが人気です。MBAはある種、組織を束ねるためのリーダー、マネージャーを育成する場所ですが、その他の大学院は法学やエンジニアリングなどの専門性を高めたいという人が目指す場所なのです。

本心に納得して留学を選択できれば成功する

いくつか注目の専攻を挙げましたが、これには理由があります。これからのグローバル社会で生き残っていくためには、世界を舞台にヒト、モノ、カネを動かせるようにならないといけない。となるとMBAをはじめとする実践的な学びは必ず役立ちます。日本を飛び出し、世界規模で社会インフラを支えたいという人もいます。それなら、国際関係学や行政学の実践知

とはいえ、大学院留学を実現するまでの道のりは、想像以上にクリアすべき課題が多いです。英語力UPはもちろん、準備自体にもお金がかかります。仕事も忙しいなか、それを乗り越えるには、留学をすべき納得できる理由が必要です。周りのみんなもしているから……では、最適な大学院留学を実現することは難しいでしょう。高度経済成長期は、人と同じことをやっていたら成長できず、それが今では、日本経済は縮小している。つまり、人と同じことをしていても下がっていく一方

出願が2年後ですか…

今からだど2年後の出願、3年後の入学を目指すことになるね

その上で改めて聞きますが…

海外の大学院を目指したいのですが……

STEP1 あなたがワクワクできる未来を語ってください。

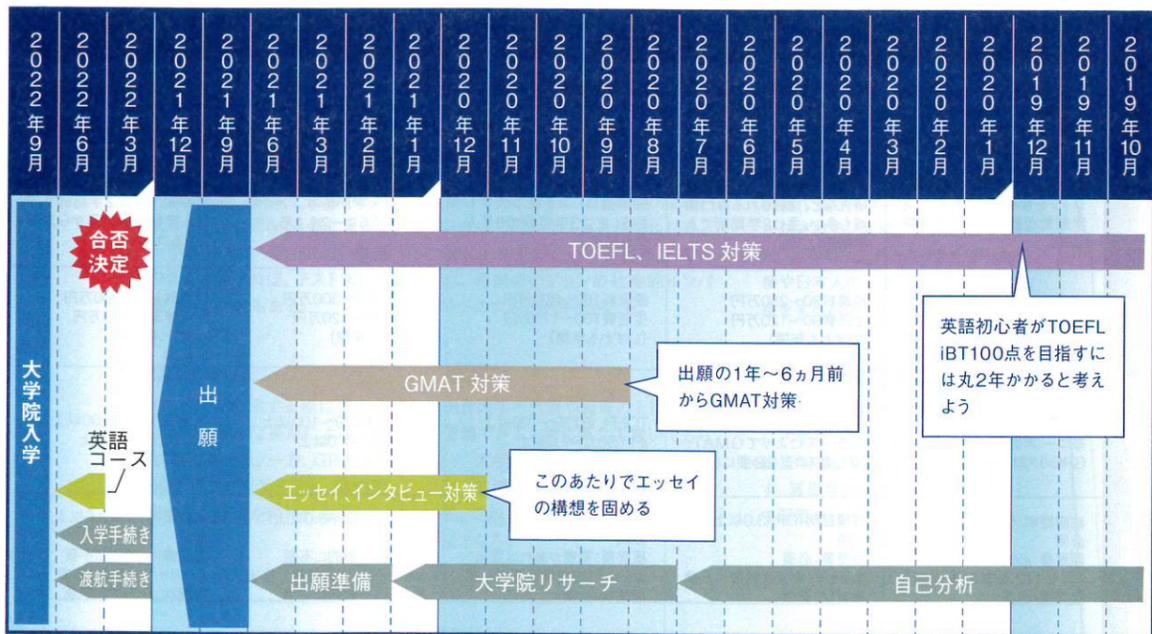
STEP2 今それが実現できない理由を教えてください。

STEP3 それを取りに行くために海外留学は必要ですか？

留学への道のりは非常に厳しい。本当に納得できる理由がないと続きません。

「ワクワクできる未来」が「実現できない理由」とは？

2022 大学院入学モデルスケジュール



本誌記者が本気でシミュレーション 20〜40代社会人 大学院留学への道

社会人が大学院留学を目指したとき、何が起るのだろう。本誌記者が留学支援のプロ、アゴス・ジャパン横山匡さんに本気の相談をして、留学までの道のりをシミュレーション！

今から準備で入学は3年後の2022年9月

大学院留学で人生一発逆転！一度くらいそんな風に考えたことがある人は少なくないはずだ。かくいうこの記事のライターである私もそのひとり。長年、留学に憧れながら、忙しい日々が流されてきた。家族もいる。小さいながら会社も経営している。しかし、このまま人口減少が進むこの国が沈んでいくのをサッと見届けていいのだろうか？ 現在46歳。人生100年時代といわれる昨今、あと30年は働くことになるのも決して冗談ではない。ならば、グローバル社会に順応できるレベルの英語力を鍛え、さらに

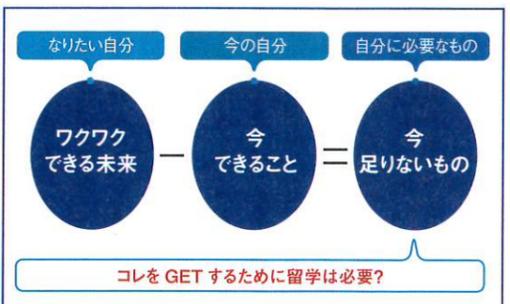
MBAのノウハウなどを身につけて、新たなビジネスチャンスを探っていくくらいの気概は必要——というわけで、費用のことは難しく考えないようにしつつ、まずは今の自分に何ができるのか、そして何をすべきなのかを確かめに、前項で登場いただいたアゴス・ジャパン横山匡さんのもとを訪ねた。まず、横山さんから浴びせられたのは、キツイ洗礼だった。「ゼロからスタートとなると2年後の2021年秋の出願を目指すのが現実的で、入学は2022年9月ということになるでしょう。それまでモチベーションが続く自信はありますか？」もちろん、来年(2020年)の入学を目指すのは学力的にも費



用的にも難しいと考えていたが、まさか3年後だとは……。この激動の世の中、3年後に何が起っているもおおかしくない。そのなかで強い意志をもって留学を志す必要があるということだ。

「ワクワクできる未来」が「実現できない理由」とは？

「社会人留学のカウンセリングって、実にシンプルなんです。私はいつもこう聞くんです。まず、①あなたがワクワクできる未来を教えてください。②今それが実現できない理由を教えてください。そして、③それを取りに行くために留学が本当にマストか考えてください。」



まず、①の「ワクワクできる未来」とは何だろうか？ 恥ずかしながら、具体的に考えていなかったが、インターネット環境を駆使して、海外の人も対象にできるコンテンツビジネスを展開することだろうか。次に、②のそれが今すぐ実現できない理由は、忙しくて準備する時間がない。海外のネットワークもない。そもそも投資する資金がない……。ないない尽くしてある。あるのはやる気と日常会話レベルの英語力くらいだろうか。そこに③の質問が重くのしかかる。その夢を実現するのに、大学院留学は必要か——。正直わからない。これじゃダメだろう。確かにもっともって具体的なビジョン

が必要だ。MBAというより、コンピュータサイエンスや認知心理学みたいなことを専門的に学んだほうが、突破口が開けるのかもしれない。すると横山さんからこんなアドバイスが……。

自分自身に何ができるか、まず知る必要がある

「夢を実現するためには、まず自分自身に何ができるか知る必要があります。『ワクワクできる未来』から『今できること』を引くと残りが『今足りないもの』。つまり、『自分に必要なもの』といってもいいかもしれません。留学をすれば、足りないパーツが補強され、夢が実現されると納得できる理由があれば、きっと留学は成功するでしょう。」

今の自分にできること……。文章を書いて表現する経験を積んできたこと、雑誌やWebサイトをつくる程度のことまでできる。小さな会社を経営してきたノウハウもある。足りないものは何か……。あり過ぎて、目眩がしそうだが、困難は覚悟の上だ。今動かなければ、絶対後悔するという危機感も人一倍ある。ならば、やるしかない！

ということで、次項では大学院留学に向けて、具体的にやるべきことを横山さんに聞いてみた。

やっぱりハーバードとか
トップスクールを目指す
べきなんではなか？

MBA

MBA といっても
留学先はいろいろ

アメリカの大学院は
2年間が基本。
イギリスは1年間で
修了できるコースも
ありますよ

USA

UK

トップスクールに通うべき理由

- ① 世界の英知が結集している
- ② 世界のエリートとつながる
- ③ 専門性が高い

自分がいかに狭い社会で
生きていたか気づきますよ

アメリカの大学院は
2年間が基本。
イギリスは1年間で
修了できるコースも
ありますよ

そうなん
ですね！

Resume = Past Success
(履歴書) (過去の成功)

Essay = Personal Quality
(英作文) (個人の資質)

Interview = Personality
(面接) (コミュニケーション力)

Letter of Recommendation = Credibility
(推薦状) (信頼性)

つまり
こういうこと

ど、どうしたら
合格できます
かね…?

MBAの出願

「私の将来を
買って下さい」

自分のワクワクする
未来を留学で実現で
きる理由を語るのが
出願になります

大学院留学の出願に必要なもの

TOEFL・IELTS

出願要件となる英語試験のスコア。TOEFL iBT、IELTSなど、出願する大学によって条件は異なる。国によっては、大学院準備コースがあり、規定のクラスを履修すれば、テストスコアが免除される場合もある。

GMAT・GRE

MBAコースに出願する際に求められる試験がGMAT。英語による一般教養試験にあたる。一方、GREは英語で基礎学力を計るテスト。言語能力、数的処理能力が問われる。

エッセイ

志望理由や将来の目標などを英語で書いて提出する。これまでの経験、スキル、知識、ビジョンが問われる。特にトップスクールを目指す場合は、将来のビジョンの社会的インパクトの大きさが評価される。

推薦状

出身大学の教員や職場の上司など、信頼できる人物に英文で書いてもらい、大学に提出する。MBAの場合は、職場の上司からもらうのが一般的。これが社会人としての信頼性の証となる。

インタビュー(面接)

英語による面接。パーソナリティや英語でのコミュニケーションスキルが試される。現地で実施が望ましいが、近年はインターネットを使った面接や日本人の卒業生と日本国内で面接をするパターンもある。

GPA(成績証明)

Grade Point Averageの略。卒業した大学から発行してもらう英文の成績証明書。成績評価の平均値を表す。基礎学力や責任能力の証明として評価される。

大学院留学の 準備と費用

いくらかかる？ 何が必要？

大学院留学を目指すにあたり、出願に必要なテストや書類、費用についても知っておく必要がある。どのような選択肢があり、費用や条件はどうなっているのかをアノスジャパン横山さんに詳しく聞いた。

大学院の出願とはつまり「私の将来を買ってください」

熟慮の末、MBAに志望を定め、「ワクワクする未来」も自分なりに明確化した。すると次は、具体的な留学先選びとなる。引き続き、アノス・ジャパンの横山さんに話を聞いた。

「MBAといっても進学先は各国さまざまです。アメリカの大学院は2年間が基本ですが、イギリスには1年間でMBAを修了できるコースもあります。授業内容や費用も異なるので、じっくり調べる必要があるでしょう。条件が整うなら、ハーバード、スタンフォードといった世界のトップスクールを目指す意味は大いでしょう」

横山さん曰く、名門と呼ばれ

大学院に通うべき理由は、以下の3点。①世界の英知が結集している ②世界のエリートとつながれる ③専門性が高い。やはり、「地球規模で社会全体を変革したい」と考え、世界中から集まってくる同世代の仲間との出会いは刺激に満ちあふれているという。

「トップスクールの出願というのは、つまり自分がそのクラスに存在するべき理由を述べること。特にMBAに関しては、私の将来を買ってください」というアピールの場なのです。大学側は、オリジナリティのある経験と知見によって、クラスに化学変化を起こし、世界を変えるようなイノベーションを生み出すことを期待しているのです。言わば、就職活動に近いですね」

出願書類の内容にはひとつずつ意味がある

出願に必要な材料としては、条件に沿ったTOEFL、GMATなど英語テストや入学適性試験のスコア、大学時代の成績(GPA)、履歴書、エッセイ、推薦状などがある。これらを用意し、1次選考を通過したら、面接に臨む。これらには過去の成功体験や個人の資質、人間性などを深く問う目的があるという。

「まずは授業に参加するための英語力が必要です。欧米の場合、発言しなければ、存在しないのと同様です。まずは自分の能力を高め、できることを増やして、「ワクワクする未来」のスケールを広げてください。繰り返しますが、夢の実現のために多くの選択肢から納得して留学を選んだ人は必ず成功にたどり着けるでしょう」

■ 大学院留学の準備と費用例

	アメリカ	カナダ	イギリス	オーストラリア	ニュージーランド
特徴	世界を代表するトップスクールを擁するアメリカ。1年目に基礎的な授業を履修し、2年間の修士号取得が一般的。1年あるいは、3年で修了するコースもある。インターンシップを含むコースも多い。2学期制が基本で、入学時期は9月。	州により教育制度が異なるカナダだが、修士課程を開講している大学はほとんどが公立で、教育の質は高い。教育内容やプログラムの改編や新設にも積極的。人工知能研究など、注目される専門領域も多い。主に2学期制で入学時期は9月。	1年間で修士号を取得できるコースが多いイギリスの大学院。アメリカに比べ学費は低めだが、入学後すぐに専門科目の履修が始まる。PreMasterコースという大学院準備コースを持つ大学もある。主に3学期制で9月入学が基本。	イギリスの教育システムがベースにあり、修士課程はコースにより1~2年間で修了となる。ほとんどの大学院で条件付き入学の機会を提供している。主に2学期制で、2月入学が基本。7月から入学できるコースもある。	専攻やコースにより1年から2年で修士号を取得できる。大学はすべて国立で学費が安いこと、物価が安いことが留学生にとってメリット。提出書類に多くを要求しない大学も多い。主に2学期制で、2月入学が基本。7月から入学できるコースもある。
費用	授業料200~600万円 生活費90~150万円 (いずれも年間)	授業料80~250万円 生活費90~120万円 (いずれも年間)	授業料160~300万円 生活費100~170万円 (いずれも年間)	授業料170~300万円 生活費90~120万円 (いずれも年間)	授業料150~300万円 生活費80~120万円 (いずれも年間)
テストスコア	TOEFL iBT79~100以上 IELTS6.0~7.5以上 ※コースによってGMAT、GREのスコアも必要になる	TOEFL iBT80~100以上 IELTS6.0~7.0以上 ※コースによってGMAT、GREのスコアも必要になる	TOEFL iBT79~100以上 IELTS6.0~7.0以上	TOEFL iBT79~100以上 IELTS6.0~7.0以上	TOEFL iBT79~90以上 IELTS6.0~6.5以上
提出書類	成績証明(GPA3.0以上): 必須 履歴書: 必須 エッセイ(志望動機書): 必須 推薦状: 必須	成績証明(GPA3.0以上): 必須 履歴書: 必須 エッセイ(志望動機書): 必須 推薦状: 必須	成績証明(GPA3.0以上): 必須 履歴書: 職歴があれば提出 エッセイ(志望動機書): 必須 推薦状: 必須	成績証明(GPA3.0以上): 必須 履歴書: 一般的に不要 エッセイ(志望動機書): 必須 推薦状: 一般的に不要	成績証明(GPA3.0以上): 必須 履歴書: 一般的に不要 エッセイ: 一般的に不要 推薦状: 一般的に不要

※medicalなどを除く一般的な専攻を対象にした費用例

81 Ryugaku Journal

Ryugaku Journal 80

クラスの中から世界を変えていく ハーバードビジネススクールでの体験

3年間の社会人経験を経て、ハーバードビジネススクールへのMBA留学を実現した竹川隆司さん。
現地で何を学び、何を得たのか、授業や学生との出会いについて詳しく聞いた。

ハーバードの授業を見学し チャレンジを決意

ハーバード大学ビジネススクール(HBS)でMBAコースを修了後、現在は起業し、AI人材の育成や地域活性化を支援する事業をしています。

きっかけは、大学3年次に参加した交換留学でした。カリフォルニア大学サンタバーバラ校で1年間、現地の学生と一緒に授業を受けました。ここで印象に残っているのが、特別にお願いして履修した「国際政治経済学」のゼミ形式の授業。一緒に学んだ優秀な仲間たちが一緒に「将来はビジネススクールに通う予定だ」と言っていたのが、その後も頭に残っていました。

帰国後、就職活動を行い野村證券に入社。入社3年目の終わりに、社内の留学候補生に応募しました。それが2003年の3月末。ここが準備のスタートラインでした。まず、留学予備校に通って英語の勉強を進めながら、4〜5月はMBA留学経験者と積極的に会いました。社内の先輩を中心に50人くらい話を聞いたと思います。その後、8月と10月に、休暇と出張で渡米し、主要な大学のキャンパス見学を行いました。訪れたのは、ハーバード大学、MIT(マサチューセッツ工科大学)、ロンドン大学、スタンフォード大学、UCLA(カリフォルニア大学ロサン

ゼルス校)など。いずれもキャンパスを見るだけでなく、授業も見学し、在学生と話す機会もつくりました。卒業生経由でも、大学への直接の依頼でも、快く対応してくれました。さまざまな大学を見ましたが、やはり衝撃を受けたのは、ハーバード大学の授業でした。ディスカッション中心でレベルが高く、今の自分が120%の力を出しても歯が立たない……と本気で思いましたね。逆にだからこそ絶対ハーバードに行きたいという強い気持ちも出てきました。

成長・成功に対する パッションをアピール

出願先を決定したのは、同年の11月です。HBS、MIT、ロンドン



株式会社 zero to one
代表取締役
竹川 隆司さん
Takashi Takekawa

国際基督教大学を卒業後、野村證券に就職し、会社の制度を利用して、ハーバード大学ビジネススクールにMBA留学を実現。ロンドン勤務などを経て、退職し、現在は起業をして、地域活性化やAI人材育成など社会のニーズを事業化する取り組みを行っている。

ケーススタディのトレーニングを受けました。主に英語圏以外の学生たちが集まり、国籍は、フランス、イタリア、アルゼンチン、ブラジル、中国、韓国など。まさにダイバーシティを実感しました。

「ハーバードで学んだ リーダーは謙虚であれ」

9月に正式に入学し、授業が始まります。1年目は前期5科目、後期6科目の必修です。HBSの授業は、基本的にすべてケーススタディで、学生同士のディスカッションのみで進められます。印象的なケースの一例を挙げるところです。まず、実在する金融機関のマネージャングディレクターを想定します。仕事はできて出世したが、自分勝手に周囲から不満の声が上がり、チームが立ちゆかなくなっている。さあどうするか?という具合です。リーダーシップで引っ張る、インセンティブを変える、チームのメンバーを入れ替える……などさまざまな議論があり、着地した結論を今でも覚えていて、それは、「リーダーは謙虚であれ」というもの。むしろ日本人にとっては耳慣れたもので、ハーバードでもこうなのか……とポジティブな意味で衝撃を受けました。こんなふうに語っていますが、実

「世界のため、地域のために 自分に何ができるのか?」



際に私がまともに授業に参加できたのは、1年目の後期に入ってから。前期は英語力が圧倒的に不足していて、ほとんど発言できずに、やしい思いをしました。欧米では、1度の発言のクオリティより回数が高く評価されます。回数あつてのクオリティなのです。そこで、ゲームのルールがわかったので、後期からはとにかく発言することを心がけました。

これは欧米でビジネスをする上でも同様で、「発言数」の作法はその後、海外のビジネス現場で信頼関係を築くうえで大いに役立っています。

現地で身についたのは 「決めきる反射神経」

私が個人的に学んだと思うのは、意思決定における「反射神経」みたいなものです。そもそもHBSは、リーダーとして企業や地域における意思決定をする人が目指す場所です。ものごとを決める場面に際して、できることとできないことを明確化し、最適なアクションを考え、それを実現し、プロジェクトを成功させる。つまり、ケーススタディを通して、この行動パターンをたたき込まれるんです。私はこれを「決めきる反射神経」と呼んでいます。

個人の短期的な利益のためより、社会のため、地域のために長期的に何ができるか?というメンタリティが身につくのもHBSで学ぶ意義だと思います。ハーバードでは、折に触れて「あなたたちは恵まれている分、責任がある」と言われます。つまり、世界における自分の立ち位置が問われる。そういうスケールでものごとを考える訓練をするのです。

同じ病と戦う世界中の 人のために行動した仲間

HBS在学中にこんなエピソードがありました。イスラエル人の友人が、1年次の途中でALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症し、ほとんど身体の自由が失われていくのを目の当たりにしました。ただ、授業に出るのもやっとなという状態で、彼が見ていたのは世界でした。

彼は、Pizzo for LifeというNPOを立ち上げ、ALSの治療薬研究のファンドを創設しました。自分のことより、世界中のALS患者のために立ち上がったのです。当時まだあまり知られていなかったALSは、あれから15年経ってすっかり認知され、治療薬の研究も進んでいます。ここに彼が果たした役割は大きいと思います。こんなふう

に、クラスの中から世界を変えてしまおうのがハーバード大学なのです。HBSでMBAを修了した私は、約2年間のロンドン支社勤務を経て、退職します。もともと日本のため、世界のために何かできないか考え、起業を決めました。現在、代表を務める会社で、私はAIエンジニアをオンラ

インで育成する教材とシステムづくりに取り組んでいます。大学の先生と一緒に教材を開発し、オンラインシステム上で展開し、企業に使用してもらうモデルです。私はこれを産・学・「知」をつなげるチャレンジだと位置づけています。ほかにも東北の震災復興のために何かしたいと考え、「東北風土マラソン&フェスティバル」というイベントを立ち上げ、2020年にも開催予定です。仙台をベースに社会起業家を支援する取り組みも行っています。社会のため、地域のために頑張る人を育成するというのは、HBSで学んだ私にとってのミッションだと思っています。おかげさまで多くの方々に「一緒にいただき、さまざまな夢が実現できています。まだこの世界にない価値、行動を現実化するために一歩踏み出す勇気をくれたのは、HBSの学びだと実感しています。

東北風土マラソン& フェスティバル 2020



「マラソンで東北と世界をつなげる」をミッションに、世界20カ国、7,000名のランナーが春の宮城に集結。「風土」と「Food」の魅力いっぱいのお祭りです。
http://tohokumarathon.com/